

# 原発災害とコミュニティ政策

## —福島県の避難市町村の現場から—

原発事故によって住民の域外避難を余儀なくされた福島県の被災自治体。帰還への思いは切実ですが、事故発生から1年半以上が経過し、ある自治体は「帰還宣言」をし、ある自治体は「5年間帰れない宣言」をするなど、復興計画の方向は大きく分かれています。また国による避難指示区域指定が複雑に分かれた自治体もあります。各自治体のコミュニティ政策にみられる共通性と差異とは何でしょうか。それらはどのような要因から形成されてくるのでしょうか。福島の現場から、住民の帰還、そして自治体とコミュニティの再建といういわば極限のコミュニティ政策を考えます。

なお、このシンポジウムは、福島大学との共催であり、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター設立2周年シンポジウムの一環として開催されます。学生、教職員、自治体職員、避難されている方、一般の方など、関心のある方は、どなたも歓迎します。

開催日時 : 2012年12月22日(土) 13時30分~17時

開催場所 : 福島大学(共通講義棟M棟1階M-2教室) (会場案内は裏面参照)

参加費(資料代として) 500円 ※当日会場にて、徴収させていただきます。

### プログラム

#### (1) 趣旨説明

#### (2) シンポジスト報告

1. 住民の帰村と新たな村づくり 双葉郡川内村復興対策課長 井出 寿一 氏
2. 5年間帰らないことを選択したまち 双葉郡大熊町企画調整課課長補佐 幾橋 功 氏
3. 地域分断からの都市再興 南相馬市復興企画部企画課長 牛来 学 氏
4. 帰還と復興のはざままでコミュニティを考える

コメンテーター 山川 充夫 氏

(福島大学うつくしまふくしま未来支援センター長/福島大学経済経営学類教授)

#### (3) 会場全体でのディスカッション

コーディネーター 牧田 実 氏 (福島大学人間発達文化学類教授)

**主催 : コミュニティ政策学会 共催 : 福島大学**

コミュニティ政策学会事務局

(愛知学泉大学地域社会デザイン総合研究所内)

〒471-8532 愛知県豊田市大池町汐取1 TEL : 0565-35-7031

E-Mail : a-compol@gakusen.ac.jp

HP : <http://www.gakusen.ac.jp/commu/a-compol/>



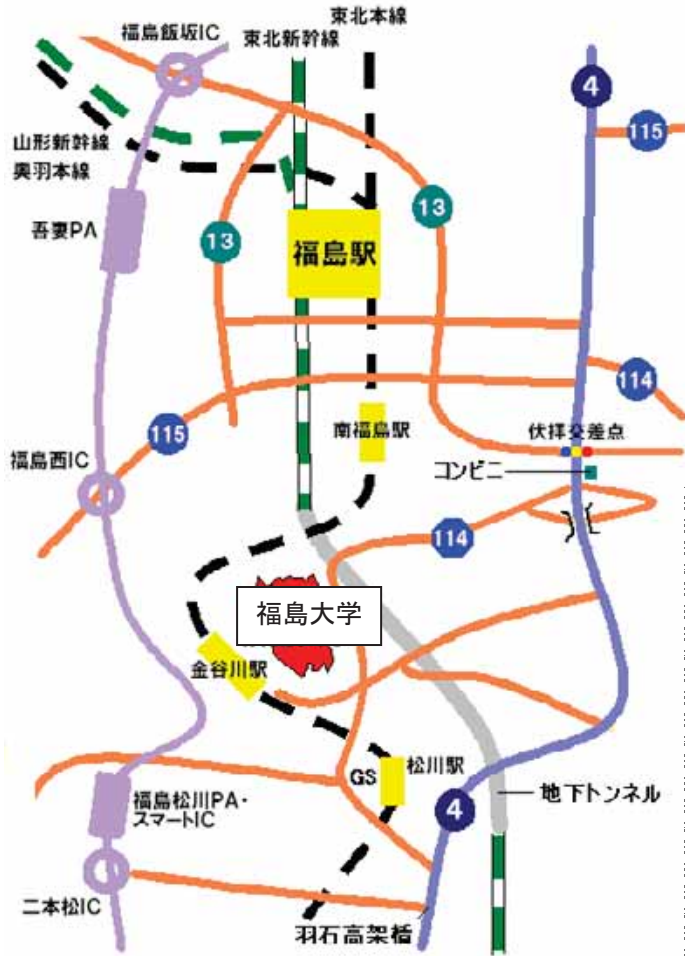
コミュニティ政策学会

# 会場のご案内

国立大学法人 福島大学

〒960-1296 福島県福島市金谷川 1 番地

(JR 東北本線「金谷川駅」下車 徒歩 8 分)



## ◆ 交通アクセス

### 【電車】

東北新幹線にて「福島駅」下車  
「福島駅」より JR 東北本線（上り：東京・郡山方面）「金谷川駅」下車徒歩約 8 分

### 【自動車】

- \* 東京方面より  
東北自動車道にて「福島松川 PA・スマート IC」下車約 6km
- \* 仙台方面より  
東北自動車道にて「福島西 IC」下車約 10 km

\* 東北本線は電車の本数が少ないのでご注意ください。シンポジウムに参加するためには、福島駅 12:24 発(金谷川駅 12:33 着)をご利用ください。次の電車は、福島駅 13:31 発となり、開始に間に合いません。帰路については、金谷川駅 17:19 発(福島駅 17:30 着)または金谷川駅 17:51 発(福島駅 18:02 着)となります。

\* 遠方の方は、ぜひ宿泊を！福島を見て感じて食べて飲んで泊まって、復興にも貢献を！！

## 【福島大学 学内配置図】



★ 金谷川駅から案内表示にしたがって西門を通して構内に入り、陸上競技場と体育館を右手に見ながら進むと、M 講義棟が左手奥に見えてきます。